

## 1. 研修の在り方について

### 【想定される主な論点(案)】

- 全国どの地域においても、質の高い発達支援の提供が図られるよう、全国共通の枠組みとして研修体系を構築していく観点では、
  - ・ 障害児支援に従事する者としての大切な心構えについてどう考えるか。
  - ・ こども施策及び障害児支援の基本理念等を核とした、研修の在り方についてどう考えるか。
  - ・ 人材育成を進めていくにあたり、障害児支援に従事する職員における重要な共通要素を整理してはどうか。
  - ・ 障害児支援と子育て支援両方の観点からの専門性を身につけるため、研修体系の構築に当たっては、「こどもの権利」、「本人支援」、「家族支援」、「地域支援」等の構成要素を踏まえ、整理してはどうか。
  - ・ 現場の実態等も踏まえながら、「障害児支援に従事した段階」「本人支援を中心に担う段階」「事業所の中心的役割を担う段階」「地域の中心的な役割を担う段階」等、それぞれの段階に応じて期待される人材像を整理し、段階的な研修体系を構築してはどうか。

## 2. 研修の実施主体について

### 【想定される主な論点(案)】

- 研修の実施に当たっては、それぞれの段階によって想定される受講者数、期待される人材像、研修のねらい等も変わってくるものと考えられることから、それぞれの段階によって、研修の実施主体を異なるものとし、
  - ・ 本人支援を中心に担う者、すなわち障害児支援に従事してから一定年数(3年目程度が目安)までの者が受講する研修については、速やかに必要な研修を受講することが重要である上、現在の事業所数を踏まえると、想定される受講者数も相当数になることが想定されることから、事業者が実施主体となり、国の標準カリキュラム等に基づき、研修を進めることについてどう考えるか。
  - ・ 事業所や地域において中心的な役割を担うことになる者が受講する研修については、都道府県や指定都市等、自治体が発実施主体として研修を実施していくことについてどう考えるか。
- 自治体を実施主体とする場合には、研修の実施を委託することを可能とする方向も考えられるがどうか。

# 主な検討事項(案)②

## 3. 研修の標準カリキュラム(案)及び効果的な実施手法について

### 【想定される主な論点(案)】

- それぞれの段階に応じて、障害児支援に従事する者が共通して習得すべき知識等について、令和6年度 子ども・子育て支援推進等調査研究事業「障害児支援における支援の質の向上に関する調査研究」で整理されているカリキュラム(案)を参考に、国として一定の標準カリキュラムを策定してはどうか。
- 研修の実施に当たっては、対面による開催だけでなく、オンラインの活用等も検討してはどうか。その際、効果的に研修を進めていくために重要な観点として考えられるものはあるか。
- 講義等の座学のみではなく、演習、OJTを組み合わせる等、研修内容等によって、効果的な実施手法を検討してはどうか。その際、効果的に研修を進めていくために重要な観点として考えられるものはあるか。

## 4. 研修の具体的運用に向けた方向性等について

### 【想定される主な論点(案)】

- 事業者、都道府県・指定都市が実施主体となることも想定される中、全国共通の枠組みとして、実施主体が効率的かつ効果的に研修を進めていくために必要な取組として考えられるものはあるか(例えば、研修実施主体向けのガイドラインの作成等)。
- 既に実施されている他のこども施策の研修科目や、資格取得等における養成課程において、こどもの発達や障害に関する専門的な知識を習得している場合等の取扱いについて、当該研修で知識の習得等が十分に担保されていると判断されるものについては、障害児支援において新たに創設する研修の受講を一部免除する等の取扱いを検討することも考えられるがどうか。